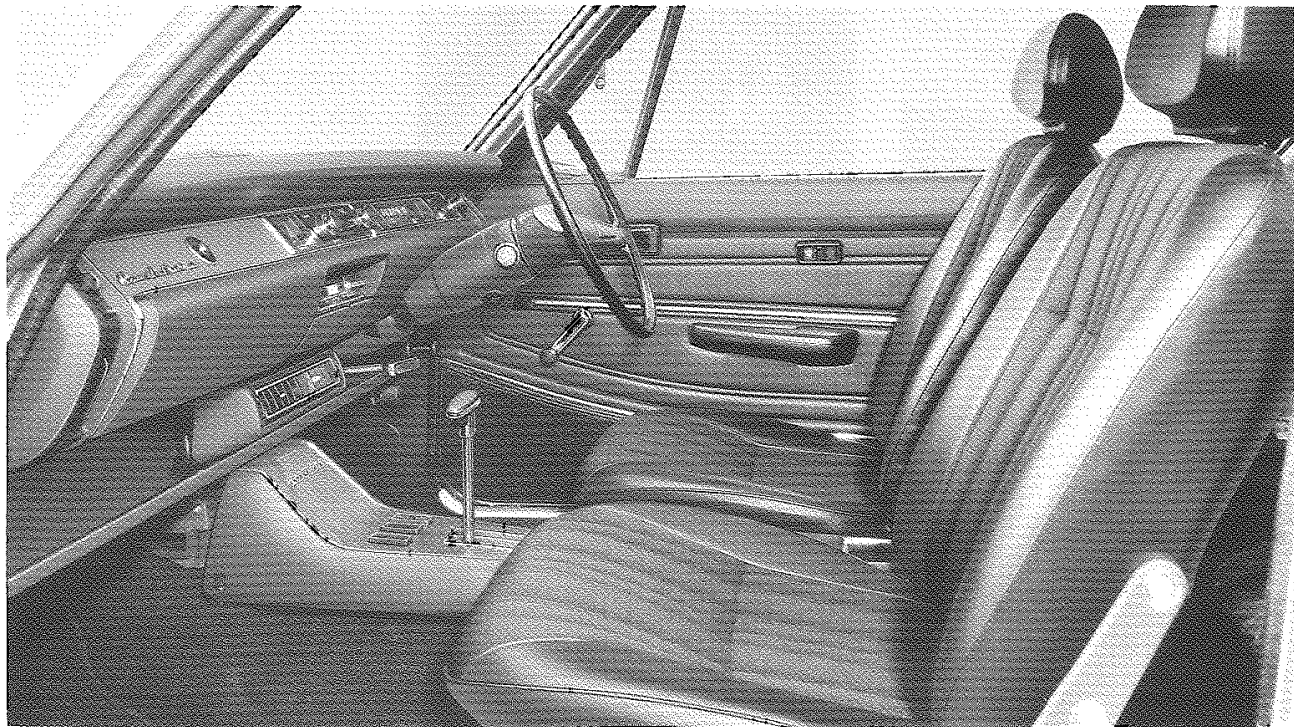


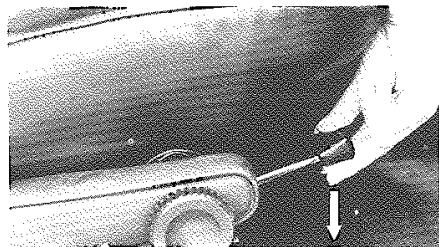
内装関係

CORONA *MARK II* 1700 HARDTOP / 1900 HARDTOP



シート

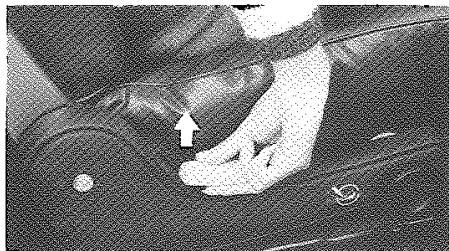
■フロント・シートの前後位置調整



レバーを外側に押している間、シートを前後に動かせます。

レバーから手をはなすと固定されます。

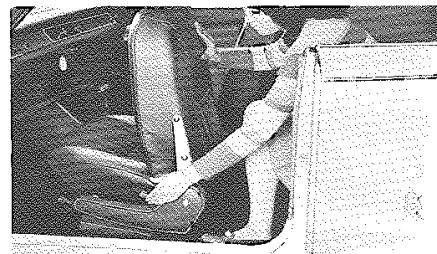
■フロント・シート背もたれの角度調整



ロック・レバーを引き上げてシート・バック〈背もたれ〉の角度を調整できます。

シート・バックは前に2段、後に16段に調整できます。

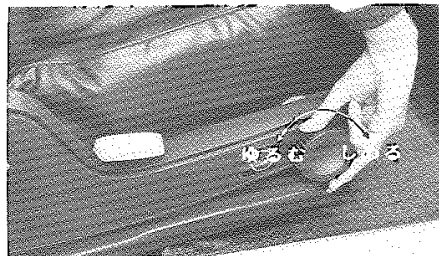
背もたれの標準位置は、一番前の位置から、後へ1段倒した位置です。



後席の乗り降りのときは、シート・バックをいっぱい前に倒します。

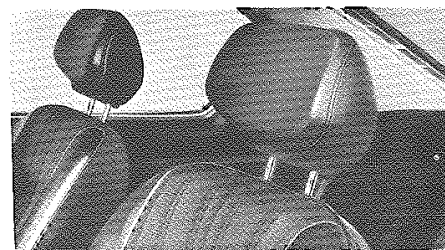
左側のシートは、シート・バックをいっぱい前に倒し、シートを前に押し出すことができますので便利です。

このときは、シート・バックを起こしてもシートは後に下がりませんので、シートを前後に動かす要領で調整してください。



運転席側シートはダイヤルを左にまわして、シートの高さを上下に調整できます。お体に合わせて高さを決めてください。高さが決まりましたらダイヤルを右にまわしてシートをロックしてください。高速道路などのような連続高速走行をするときはシートを高くするとゆったりとドライブできます。

■ヘッドレスト



ヘッドレストは上下2段に調整できます。ヘッドレストの中央が耳の上端付近になるように高さを調整してください。

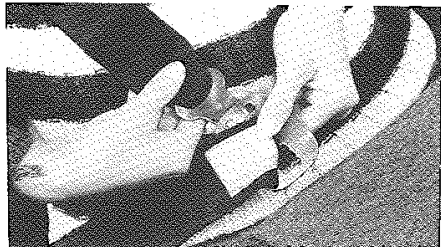
下の位置から上……そのまま引き上げる
上の位置から下……軽く前に押さえて押し下げる。

ヘッドレストにできるだけ頭を近づけた状態で運転してください。

取りはずすときはヘッドレストを前側に押さえながら引き抜きます。

■セーフティ・ベルト

セーフティ・ベルトを装着するには次のようになります。

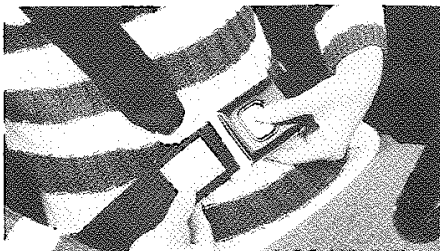


1. 肩掛けベルトをバックル・プレートに差し込みセットする。

2. バックル・プレートをバックルに押し

し込んでセットする。

3. ベルトの調整を行なう。



ベルトをはずすときは、バックル・ボタンを押すとはずれます。

肩掛けベルトは、バックル・プレートに取付けたままで次からの装着に支障ありません。

■ベルトの調節

セーフティ・ベルトの長さは、腰ベルトをいっぱい引き出してバックルをしっかり持ちベルトを引いて調節します。

肩掛けベルトはカバーをはずして、ベルトを望む方向に引き出して行います。

腰ベルトは身体に比較的きつく肩掛けベルトは運転を行うのに必要な最小限だけゆるめておくようにします。

《注意》

腰ベルトは自動巻込み式ですので、いっぱい引き出して調節しないとその効果がうすらぎますので注意してください。

装備品

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに使えます。

スイッチとアンテナ……

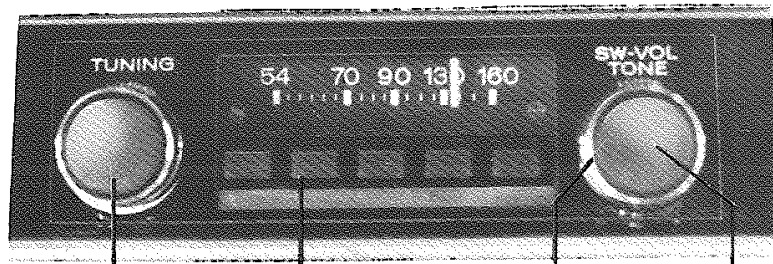
スイッチを押すと電源が入り、同時にアンテナが1段目までとび出します。

もう一度スイッチを押すと電源が切れます、このときアンテナは下がりません。

アンテナは、手で長く引っぱり出せませんが普通なら1段目で十分です。

いっぱい押込むと、鍵がかかり、引き出せなくなります。

ブッシュ・ボタン式



選局ダイヤル

選局ボタン

音質調整つまみ

スイッチとボリューム

サーチ・チューナー式



選局ダイヤル

感度切換ボタン

サーチ・ボタン

音質調整ダイヤル

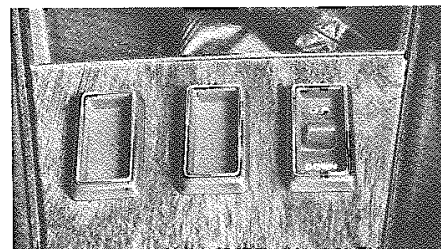
スイッチとボリューム

スイッチとボリュームの調整……押しボタン式スイッチです。

スイッチを右にまわすほど音が大きくなります。

音質の調整……音質調整つまみを左にまわすほど、やわらかい感じの音になります。

モーター・アンテナ〈GL, GSL〉



モーター・アンテナです。スイッチは上側に押している間、アンテナは送り出されます。手をはなすと止まります。

下側に押すと下がります。

適当な位置でご使用ください。

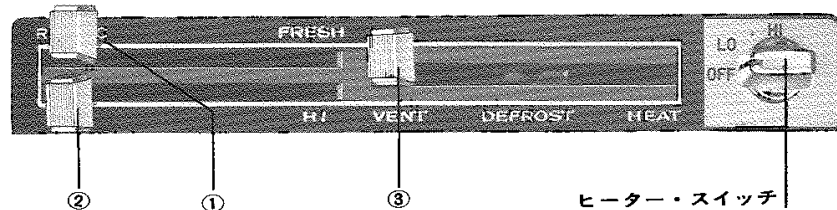
選局のしかた……

A 選局ダイヤルをまわす。

B サーチ・ボタンを押す。(自動選局)
サーチ・ボタンを押すと、針は動き、次に聞ける局で止まります。

感度切換ボタンDを押すと、感度が強くなり、遠くの局でも止まります。もう一度押すと、もとにもどります。

■ヒーター



■ヒーターの操作は下表のとおりです

レバー類	操作位置			
ヒーター・スイッチ	OFF	LO	・	HI
		弱風	中	強風
① 内外気切替レバー	RECIRC ← 内気循環 ←	→ FRESH → 外気導入		
② 温度調整レバー (頭寒足熱型)	LO ← 温度が低い	→ HI 温度が高い		
③ 風出口切替レバー	VENT ←	→ DEFROST ←	→ HEAT	
	空気循環 ←	→ ガラスの曇り止め ←	→ 室内暖房	

■ベンチレーション・ルーバー

つまみを左、右に倒すと風向きが左右にかわります。

ダイヤルをまわすことにより風の向きが上下に変化します。

夏期、くもり止めに使うには……

ヒーター・スイッチを入れ①をFRESH
②をLO、③をDEFROST にしてください。

■ブースト・ベンチレーション

〈強制ベンチレーション〉

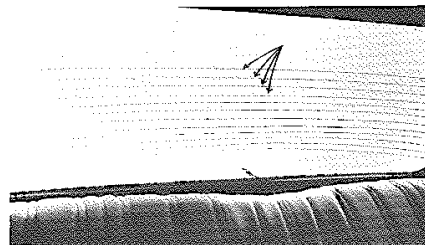
夏期にはベンチレーションとしても使用できます。

ヒーター・スイッチを入れ①をFRESH
②をLO、③をVENT にしてください。
お車が停止していても、ヒーター・モーターを利用して車外の新鮮な空気を導き入れることができます。

吹き出し口の角度を変えて風向きを変えることができます。

■リヤ・ウインドウ・デフォッガー

〈曇り止め〉〈GSL車〉



リヤ・ウインドウが曇って、後方の視界を妨げないようにするため、リヤ・ウイ

ンドウを暖めて曇りをとります。

エンジン・スイッチがONのときに使えます。

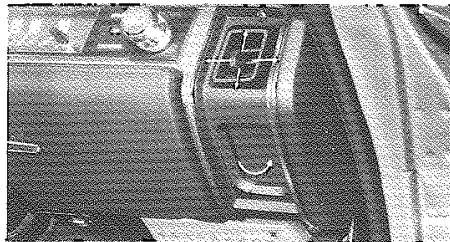
作動中はスイッチに赤色のランプがつきます。

《注意》

リヤウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。

室内のくもりを取るもので、雨水、雪を乾燥させる能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■カウル・ベンチレーター



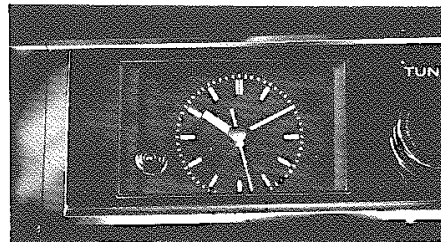
ベンチレーター・ボタンを引くとルーバーから車外の新鮮な空気が入ってきます。ルーバーからの風向きは、バルブの向き

を変えると上下左右に変えられます。

ルーバーからの風が不要のときは、バルブを閉じます。

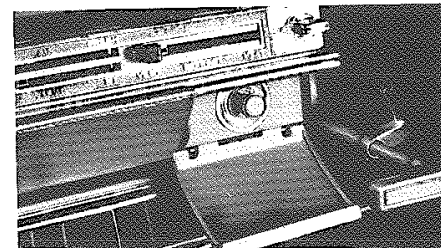
サイド・ベンチレーターの風向きは、つまみを上下左右に動かして調整します。

■時計



電気時計です。つまみを引いてまわし、時刻の調整をします。

■シガレット・ライター



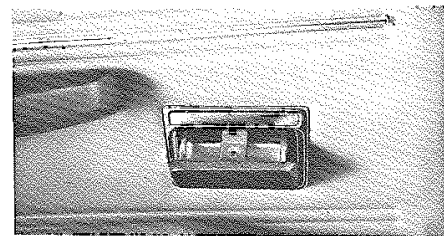
カバーは上側を手前に引いてあけます。

シガレット・ライターを押し込んでしばらくすると自動的にもとの位置までとび出します。このときすぐに抜き出して使用して下さい。

《注意》

押し込んだまま押さえているとライターを傷めるものになりますから 押し込んだら手をはなしてください。

■灰皿



ノロント：

灰皿の下側に手をかけて引き出します。清掃するときは、下に押さえるようにして引き出します。

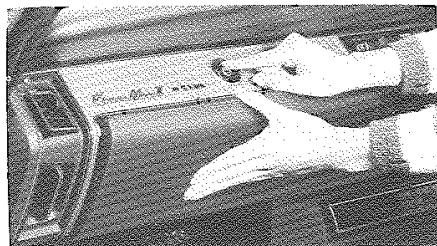
リヤ：

清掃するときは、タバコ消しを押えては

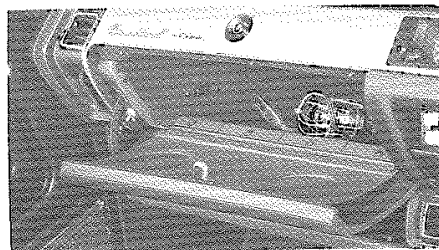
ずします。

取り付けるときは、フロント、リヤともに、下側の二つの突起をボデー側に合わせてタバコ消しを押さえながら押し込みます。

■グローブ・ボックス



ボタンを押して開いてください。
グローブ・ボックス上壁のマップ・ホルダーを利用して、車検証などを入れてください。

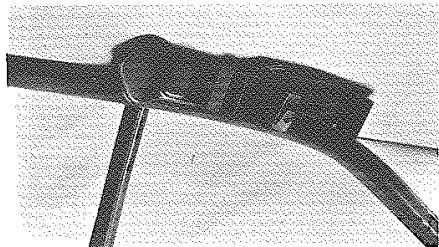


ソケットにはいつも電気がきています。
インスペクション・ランプを差込めば点灯します。

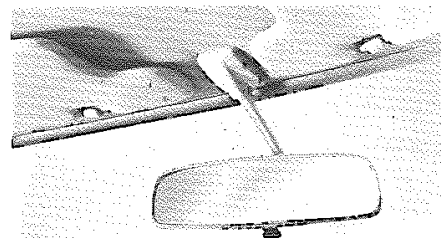
ライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くと、マップ・ランプがつきます。

■コート・フック

上着などをかけるときは外側に、内側はセーフティ・ベルトをかけてください。



■リヤ・ビュー・インサイド・ミラー

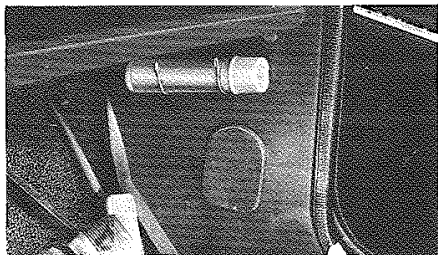


ミラーは自由に角度を変えることができます。運転しやすい位置に調整してください。

防眩式ミラー

夜間、後続車のライトがインサイド・ミラーに写り、眩しいときに使用します。ミラー下にあるレバーを前側に押しと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認でき、安全運転ができます。防眩が必要なくなったときはレバーを引いてもとの位置にします。

■保安炎筒〈発炎筒〉



保安炎筒は踏切り内での故障など非常事態が発生したときにご使用いただく非常信号用具です。

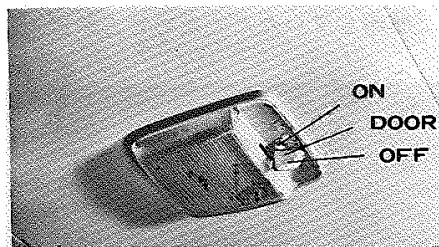
保安炎筒は運転席足元、右側に取付けてあります。外すときは上に押し上げてワイヤー・クランプから外します。

使用方法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万が一に備えてください。

《注意》

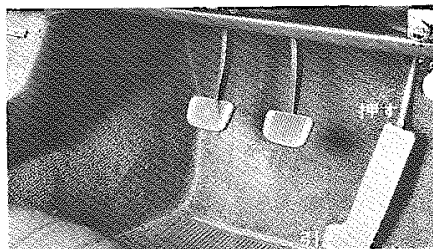
保安炎筒には有効期限があり、本体底部に明示されていますので、ご注意ください。

■ルーム・ランプ

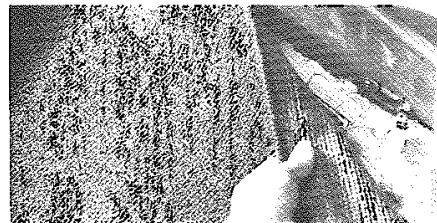


DOOR の位置では、ドアを開けたときに、ON の位置では常にランプがつかます。

■フロア・カーペット



フロント・シートの下はワイヤー・フックがついていますのでワイヤー・フックをはずしてから取外します。



リアのカーペットは後側がワイヤー・フックで止めてありますので、ワイヤー・フックをはずして取外します。